

下田総合庁舎 定例記者懇談会資料

令和 8 年 10 月 23 日

賀茂地域局

次回の定例記者懇談会
令和 8 年 11 月 25 日（水）
午前 9 時 30 分から
会場：賀茂キャンパス

目 次

◎重要施策発表

賀茂保健所管内における献血の現状と取組について・・・・・・・・・・	1
(賀茂地域局)	

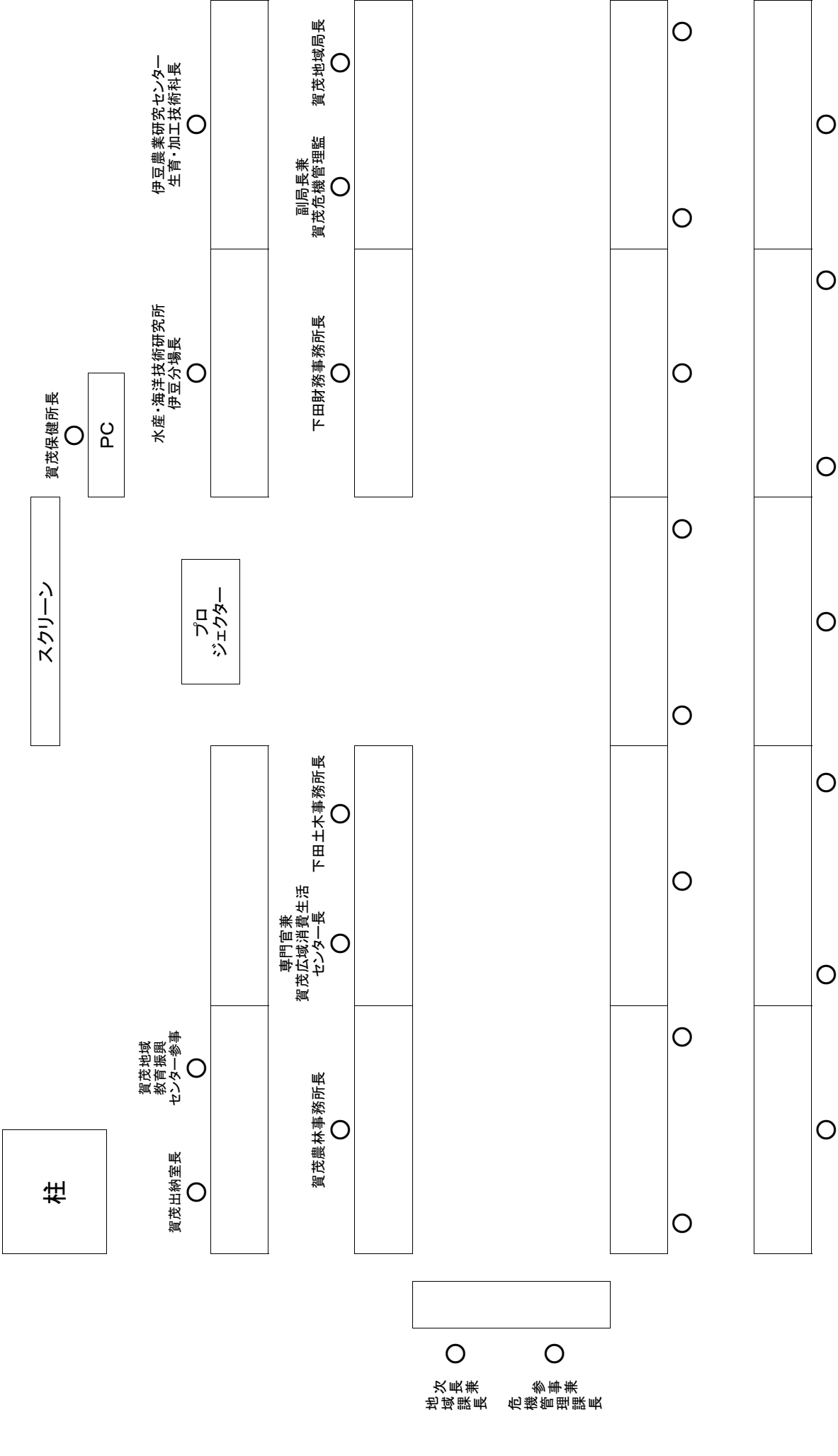
◎令和8年11月の行事予定

行事予定表・・・・・・・・・・	16
「デジタルノマドシンポジウム in 静岡」の開催・・・・・・・・・・	18
(賀茂地域局)	
＜賀茂キャンパス活用プログラム＞	
静岡大学×賀茂キャンパス公開講座『民俗学への誘い』の開催・・・・・・・・	21
(賀茂地域局)	
＜賀茂キャンパス活用プログラム＞	
静岡大学東部サテライト公開講座オンライン試聴会～カメラ画像で自然災害の予兆を検知する試み～	23
(賀茂地域局)	
小中学生が“仕事の現場”へ！★今年度初開催★冬の職場体験講座受講者募集開始	25
(賀茂地域局)	
11月の防災講座・・・・・・・・・・	28
(賀茂地域局)	
遺体収容所運営訓練の実施について・・・・・・・・・・	30
(賀茂地域局)	
税を考える週間「県税広報展」の開催・・・・・・・・・・	31
(下田財務事務所)	
医療・福祉・司法なんでもかんでも相談会【下田会場】の開催・・・・・・・・	32
(賀茂健康福祉センター)	
災害時の食の備えに関する研修・交流会を開催します・・・・・・・・・・	35
(賀茂健康福祉センター)	
園児がフラワーアレンジメントを体験・・・・・・・・・・	36
(賀茂農林事務所)	
狩猟解禁に伴う一斉パトロールの実施・・・・・・・・・・	37
(賀茂農林事務所)	
体験充実！親子で楽しむ「土木の日」がパワーアップ・・・・・・・・・・	38
(下田土木事務所)	
西伊豆にも“はたらくるま”がやってくる！	
～「夕陽のまち西伊豆町ふるさとまつり」への土木PRブースの出展～	40
(下田土木事務所)	
くらしに役立つ県民講座～未来につなぐ終活・相続の話～・・・・・・・・	41
(賀茂広域消費生活センター)	

定例記者懇談会構成員名簿

	役職名	氏 名
1	賀茂地域局長	あおき かつひろ 青木 克裕
2	賀茂地域局副局長兼賀茂危機管理監	まつおか ひろのり 松岡 宏典
3	東部地域局伊豆観光局長	ささの つとむ 笹野 努(欠席)
4	下田財務事務所長	たけだ としき 竹田 敏己
5	賀茂健康福祉センター所長	わたなべ しん 渡辺 心(欠席)
6	賀茂健康福祉センター医監兼賀茂保健所長	ほんま よしゆき 本間 善之
7	賀茂農林事務所長	じょうけ まこと 上家 信
8	農林技術研究所伊豆農業研究センター長	ば ば ふ じ お 馬場 富二夫(欠席)
	農林技術研究所伊豆農業研究センター 生育・加工技術科長	えもと ゆうじ 江本 勇治
9	水産・海洋技術研究所伊豆分場長	まつやま はじめ 松山 創
10	下田土木事務所長	おおすみ やすし 大隅 泰史
11	賀茂広域消費生活センター所長	まつひさ まゆみ 松久 真弓
12	賀茂出納室長	まつなが とし の 松永 俊乃
13	賀茂地域教育振興センター参事	み むろ なおこ 三室 直子
14	賀茂地域局次長兼地域課長	いいだ まさゆき 飯田 雅之
15	賀茂地域局参事兼危機管理課長	はかまだ こうじ 袴田 晃司

賀茂地域定例記者懇談会 座席表
(下田総合庁舎別館 2階 賀茂キャンパス)



出入口

賀茂保健所管内における 献血の現状と取組について



静岡県献血イメージキャラクター
「アボちゃん」

静岡県賀茂保健所

医療に不可欠な血液製剤の原料となる血液の安定的な確保のため、
賀茂保健所管内における献血の現状と取組について御説明します。

血液製剤とは

輸血用血液製剤

全血製剤

- 保存温度 2～6℃
- 有効期間 採血後21日間



赤血球及び血漿成分を同時に必要とする場合に使われます。

赤血球製剤

- 保存温度 2～6℃
- 有効期間 採血後28日間



慢性貧血、外科手術などに使用されます。

血漿製剤

- 保存温度 -20℃以下
- 有効期間 採血後1年間



複数の血液凝固因子の欠乏による出血傾向の場合に使用されます。

血小板製剤

- 保存温度 20～24℃
- 有効期間 採血後6日間
- 要振とう



血小板機能の異常により出血傾向にある場合や出血の危険性が高い場合に使用されます。

血漿分画製剤

免疫グロブリン製剤



慢性炎症性脱髄性多発根神経炎 (CIDP) などの神経疾患、重症筋無力症、多発性筋炎、川崎病などの免疫疾患に使用されます。

アルブミン製剤



循環血流量減少性ショック、腹水を伴う肝硬変、凝固因子の補充を必要としない血漿交換療法などに使用されます。

血液凝固因子製剤

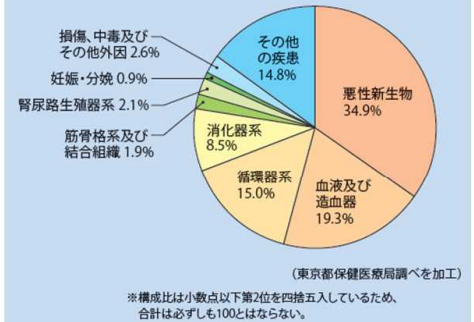


血友病の治療等、出血が止まりにくい状態の患者さんに使用されます。

その他

疾病別輸血状況

(2024年(令和6年)東京都) ※不詳は除く



出典：日本赤十字社

- 血液製剤は、主にがんや血液疾患等の治療に使用される
- 血液は人工的に作れず、長期保存もできないため、献血への継続的な協力が必要

血液製剤には、「輸血用血液製剤」と「血漿分画製剤」があります。

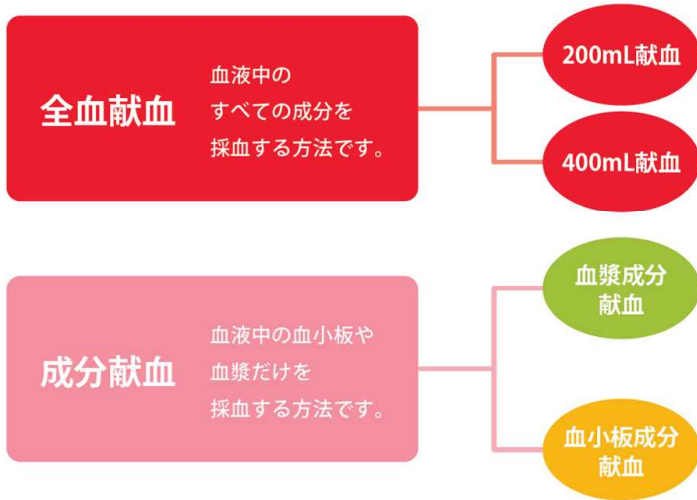
血液製剤と聞くと、事故等によるけがの治療や手術に必要とする輸血を想像されると思います。

しかし、血液製剤は、主にがんや血液疾患等の治療に使用されています。

血液は人工的に作ることができず、また長期保存もできないため、多くの人による継続的な献血が不可欠です。

献血の種類

■ 献血の種類



出典：日本赤十字社

■ 全血献血の主な採血基準

	1回採血量	男	女
年齢	200mL	16～69歳	
	400mL	17～69歳	18～69歳
体重	200mL	45kg以上	40kg以上
	400mL	50kg以上	
採血間隔	200mL	4週間後から	
	400mL	12週間後から	16週間後から

※60～64歳までに一度でも献血していれば、69歳まで献血可能。

※この基準以外にも、病歴や渡航歴、当日の体調等によっては、献血に御協力いただけない場合あり。

献血には、血液中のすべての成分を採血する「全血献血」と、血液中の血小板や血漿だけを採血する「成分献血」があります。安全な血液を確保するためには、年齢や体重などの様々な条件があります。

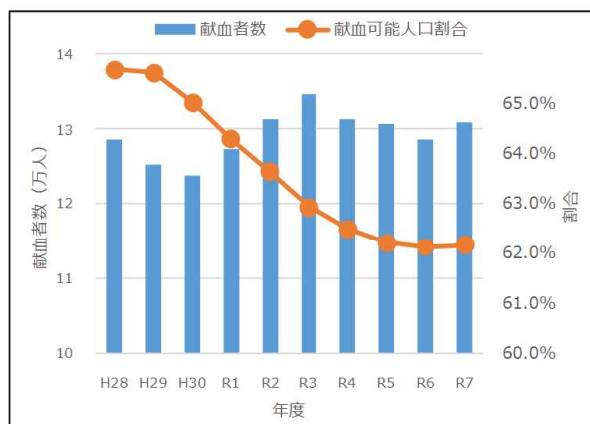
右の表は、「全血献血」について、主な採血基準を示したものです。

賀茂管内で行われる献血はすべて全血献血であり、得られた血液は愛知県にある東海北陸ブロック血液センターにて検査や製剤化が行われます。

種類にもよりますが、16歳から献血可能で、60～64歳までに一度でも献血していれば、69歳まで献血をすることができます。

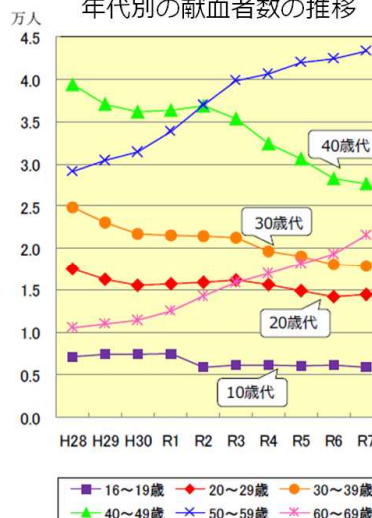
静岡県の献血状況

献血者数と献血可能人口割合の推移



※献血可能人口割合：人口における献血可能人口（16～69歳）の割合

年代別の献血者数の推移



- 若年層(10～20歳代)及び30～40歳代に対する献血意識の普及啓発、並びに複数回献血者の確保が課題となっている

本県で令和7年度に献血に御協力いただいた方は、130,729 人でした。

一部の血液製剤は海外に頼っている部分もありますが、現時点では、県内で必要な「輸血用血液」は不足なく供給されています。左のグラフより、県の人口における、16歳から69歳までの献血可能人口の割合は減少傾向にあり、右のグラフより、10歳代から20歳代の若年層、及び30歳代から40歳代の献血者数が減少していることが読み取れます。

必要血液量を安定的かつ効率的に確保するために、10歳代から40歳代に対する献血啓発、及び同一献血者からの複数回献血の確保が課題となっています。

令和 8 年度静岡県献血推進計画

今年度、本県で必要と見込まれる血液製剤量
(赤血球製剤：14,032 L、血漿製剤：6,336 L、血小板製剤：4,175 L)



県内で確保すべき血液量

59,070 L



県内の献血者確保目標人数

143,000人



市町名	下田市	東伊豆町	河津町	南伊豆町	松崎町	西伊豆町	計
目標人数 (人)	270	102	82	92	67	82	695

令和 8 年度静岡県献血推進計画の概要を示します。

本県において、今年度に必要と見込まれる血液製剤の量より、本県では59,070 Lの血液を献血によって確保する必要があります。この血液量を確保するため、143,000人の献血者を確保することを目標としています。

この人数を確保するために、血液センターと連携の上、市町が献血者確保計画を作成しており、賀茂管内では下表のとおり確保することを目標としています。

賀茂保健所管内の献血日程

■ 今年度の献血日程（予定含む）

4/2(木)	下田総合庁舎	10/8(木)	下田市役所
4/3(金)	南伊豆町役場	10/8(木)	下田総合庁舎
7/13(月)	下田市役所	10/9(金)	南伊豆町役場
7/14(火)	県立下田高校(学内のみ)	12/21(月)	河津町役場
7/28(火)	東伊豆町役場	1/28(木)	東伊豆町役場
7/29(水)	河津町役場	1/29(金)	下田市民文化会館
9/10(木)	西伊豆町役場	3/11(木)	松崎町役場
9/11(金)	松崎町役場	3/12(金)	西伊豆町役場

➤ 平日に役場で行われる献血が主となっており、献血機会が少ない

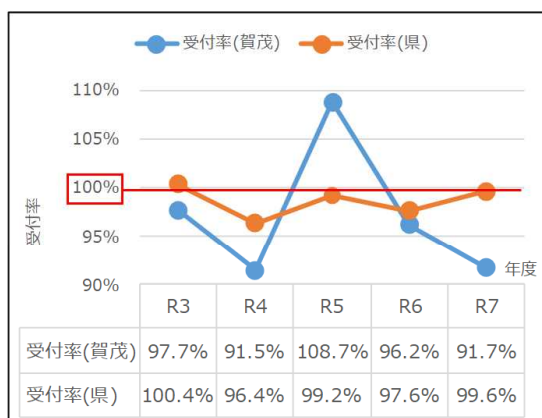
賀茂保健所管内では、下田市で5日、その他5町で2日、献血車による献血が行われます。

管内に大きな企業が少なく、平日に役場で行われる献血が主となっております。

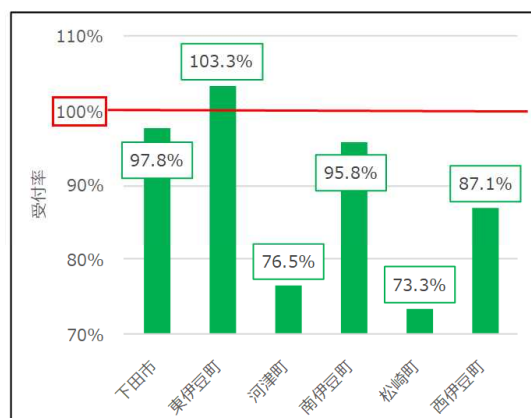
また、特に5町では年に2日と献血機会が少ないことが、賀茂管内の献血日程の特徴です。

管内の献血実施状況

県全体と賀茂管内の受付率の推移



管内各市町の受付率（R7年度）



※受付率：必要な献血者数に対する献血受付者数の割合。

- **賀茂管内では、受付率が100%に満たない市町が多く、県全体の受付率を下回っている**

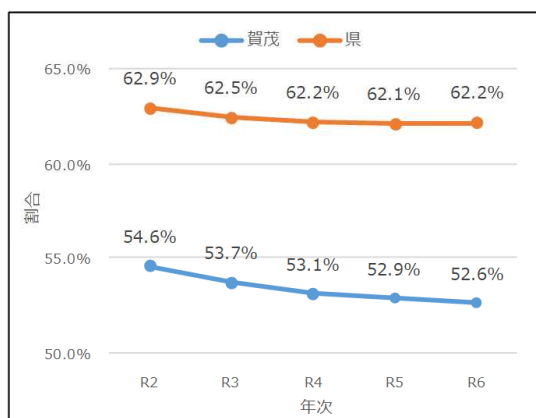
献血者の確保状況を表す指標として、「受付率」というものがあります。

これは、必要な献血者数に対する献血受付者数の割合で、県保健医療計画では毎年度100%を目標としています。

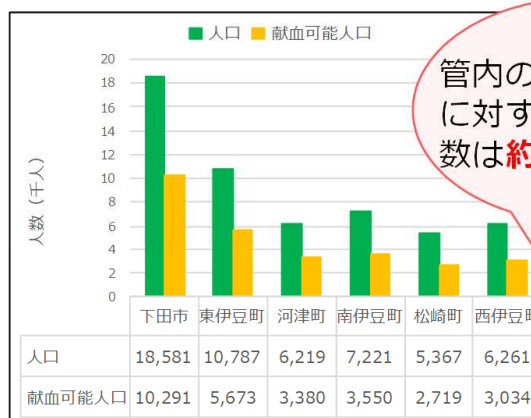
左のグラフより、県全体の受付率はおおむね100%程度で推移していますが、賀茂管内では県全体の受付率を下回る年度が多いです。また、市町別に見ると、昨年度は1市4町で受付率が100%を下回る結果となりました。

管内の献血可能人口

県全体と賀茂管内の献血可能人口割合の推移



管内市町の人口と献血可能人口（R6年）



※献血可能人口割合：人口における献血可能人口（16～69歳）の割合

- **賀茂管内では、献血可能人口割合が減少傾向にあり、県全体の割合を下回っている**

総人口における、16歳から69歳までの献血可能人口を献血可能人口割合として算出しました。

左のグラフより、賀茂管内は少子高齢化や人口減少の影響により、献血可能人口割合が県全体の割合を下回り、減少傾向にあります。各市町の人口及び献血可能人口は右のグラフのとおりです。

献血可能人口が少ないから献血する人も少ないという見方がありますが、献血可能人口に対する献血受付け数は県全体では約6%程度であるのに対し、賀茂管内では約2%程度と非常に少ない割合に留まっているのが現状です。

管内の献血実施における課題

- 献血機会が少ない
- 受付率が100%を下回る市町が多い
- 献血可能人口に対する献血受付者の割合が小さい



献血啓発が重要！



賀茂管内の献血実施における課題をまとめると、輸送の時間的制約のために献血機会が少ないこと、受付率が低いこと、及び献血可能人口に対する受付者の割合が小さいことの3点が挙げられます。

管内で献血者数を増やすためには、どれだけ多くの人に献血のことを知ってもらえるか、献血の啓発が重要です。

賀茂保健所での取組

- ケーブルテレビのテロップ放送による管内献血日程のお知らせ
- 下田総合庁舎での献血の実施
- アボちゃんサポーター事業の実施

↓実際に放送されたテロップ

献血にご協力をお願いします	下田市、南伊豆町で献血を実施します											
献血事業は、皆様の善意の献血によって支えられており、血液を必要とする患者さんが日々救われています。 ○若年層の献血者が減少しています 献血は16歳からできます 10代から40代の方は、より一層のご協力をお願いします ○献血で健康チェックができます 献血検査成績表を持って薬局に行くと、健康状態の相談ができます 	<table border="1"><tr><td>10/8</td><td>10:30-12:00</td><td>下田市役所</td></tr><tr><td>(木)</td><td>13:30-16:00</td><td>下田総合庁舎</td></tr><tr><td>10/9</td><td>9:00-11:00</td><td rowspan="2">南伊豆町役場</td></tr><tr><td>(金)</td><td>12:15-15:00</td></tr></table>  献血手帳・献血カードの新規発行・更新は終了しました。 Webサイト・アプリで献血の予約・事前の問診回答などが可能になる、 「ラブラッド」への登録をお願いします！	10/8	10:30-12:00	下田市役所	(木)	13:30-16:00	下田総合庁舎	10/9	9:00-11:00	南伊豆町役場	(金)	12:15-15:00
10/8	10:30-12:00	下田市役所										
(木)	13:30-16:00	下田総合庁舎										
10/9	9:00-11:00	南伊豆町役場										
(金)	12:15-15:00											
静岡県賀茂保健所 衛生業務課 0558-24-2057	静岡県賀茂保健所 衛生業務課 0558-24-2057											

これらの課題を解決するための取組として、賀茂保健所では管内の献血日程のお知らせをケーブルテレビ各社に依頼し、テロップ放送しています。

また、市町と連携し、各市町内の献血日程について広報の取組をお願いしておりますが、

総合庁舎で行われた献血では、庁舎内の職員や近隣企業宛てに、事前にポスターの掲示や通知により協力を依頼し、10月8日の献血では31の方に御協力いただきました。

さらに、アボちゃんサポーター事業により、賀茂管内の住人に向けた啓発活動を行っています。

アボちゃんサポーター事業とは

- 高校生による献血ボランティア
- 地域や学校内での献血の広報・啓発活動に参画し、特に将来の献血を担う若年層の献血意識の高揚を図る

R8年度賀茂管内アボちゃんサポーター

県立下田高等学校	12人
県立松崎高等学校	8人
県立伊豆の国特別支援学校伊豆松崎分校	2人

アボちゃんサポーター事業とは、県が平成10年度から毎年行っている啓発事業です。

献血が可能になる16歳という年齢に合わせ、高校生の皆さんに「アボちゃんサポーター」としてボランティアをお願いしています。

若い世代が自ら地域や学校で広報活動を行うことで、同世代が献血を身近に感じるきっかけを作るとともに、将来を担う若年層の献血意識を高めることを目的としています。

管内では今年度、県立下田高校、県立松崎分校及び県立伊豆の国特別支援学校伊豆松崎分校で実施し、計22人を委嘱しました。

賀茂管内でのアボちゃんサポーター事業

■ 若年層への献血啓発

➡ SNSによる広報を強化

■ 幅広い世代への献血啓発

➡ 地域のイベントでブース出展を行い、献血クイズ等を通じて献血知識を深めてもらう



↑委嘱式の様子（松崎）
→学内献血の様子（下田）



管内のアボちゃんサポーターの活動内容を紹介します。

右の画像は、各高校のInstagramアカウントへの投稿で、委嘱式や学内献血の様子をアカウントにアップすることで、若年層への献血意識の普及を図っています。

また、管内では少子高齢化の影響で若年層がそもそも少ないことから、献血可能人口全体への献血啓発活動として、地域のイベントでの啓発活動を行っています。

今年度は啓発グッズの配布だけでなく、より主体的に献血のことを知ってもらえるよう、イベント来場者にアボちゃんサポーター作成の献血クイズを実施することを予定しています。

アボちゃんサポーターの活動計画

6月

- ・委嘱式（松崎）
- ・文化祭での啓発活動（松崎）

7月

- ・委嘱式（下田）
- ・学内献血（下田）
- ・愛の血液助け合い運動（全国一斉キャンペーン）

9月

- ・松崎町・西伊豆町での献血日程の周知

10月

- ・イベントでの啓発（下田市ふれあい広場）

11月

- ・イベントでの啓発（西伊豆町ふるさとまつり）

1～2月

- ・「はたちの献血」キャンペーン（全国一斉キャンペーン）

管内のアボちゃんサポーターは、学校内での献血啓発や、全国一斉キャンペーン及び地域の献血日程の周知について活動を行っています。

秋には、学校内から地域へ活動範囲を広げ、10月は下田市ふれあい広場において、下田高校アボちゃんサポーターがイベント啓発を実施し、11月には松崎高校及び松崎分校アボちゃんサポーターが西伊豆町ふるさとまつりでの啓発活動を予定しています。

まとめ

- 少ない献血機会で十分な献血者を確保する必要がある
- 管内の献血可能人口に対する献血受付者数は約 2 %



**アボちゃんサポーターとともに、98%の
献血可能者に協力を呼び掛けていく！**

賀茂管内の献血・啓発に御協力よろしくお願いします



管内の課題を踏まえ、アボちゃんサポーターとともに、より多くの人に献血に御協力いただけるよう呼びかけ、献血者の確保を図ってまいります。

是非とも、賀茂管内の献血及び啓発活動に御協力をよろしくお願いします。

お知らせ

アボちゃんサポーターによる啓発活動について ～西伊豆町ふるさとまつり～

- 日 時：令和8年11月8日（日）10:00～12:00（予定）
- 会 場：黄金崎クリスタルパーク（賀茂郡西伊豆町宇久須2204-3）
- 参加者：松崎高校・松崎分校アボちゃんサポーター
- 内 容：来場者に献血クイズ等を実施し、献血思想の普及を図る

昨年度の様子→



最後にお知らせです。

11月8日に西伊豆町ふるさとまつりにおいて、松崎高校及び松崎分校のアボちゃんサポーターによる献血啓発活動を行います。ブースでの献血クイズによる新しいイベントを実施する予定なので、ぜひとも多くの方に御参加いただき、献血について御理解・御協力いただけますと幸いです。

行事予定表（令和8年11月分）

日	曜日	賀茂地域局	下田財務事務所	賀茂健康福祉センター	賀茂農林事務所	下田土木事務所
1	日				狩猟一斉パトロール 8:30～ 各市町（西伊豆町除く）	
2	月	静岡大学公開講座 18:00-19:30 賀茂キャンパス				
3	火					
4	水					
5	木					
6	金	①デジタルノマドシンポジウムin静岡 13:00-17:00 ホテル伊豆急 ----- ②防災講座（浜崎小学校） 10:00-11:30 賀茂危機管理庁舎 ----- ③防災講座（朝日小学校） 13:25-15:00 朝日小学校				
7	土					土木の日イベント 10:00～15:00 下田港荷さばき地
8	日					「夕陽のまち西伊豆町ふるさとまつり」土曜マーケット出展 10:00～14:00 黄金崎クリスタルパーク
9	月	①防災講座（松崎小学校） 9:15-11:00 松崎小学校 ----- ②防災講座（松崎中学校） 13:30-15:20 松崎中学校				
10	火					
11	水		「税を考える週間」県税広報展 11/11（水）～11/17（火）			
12	木	①防災講座（朝日小学校） 13:25-15:00 朝日小学校 ----- ②防災講座（下田高校 定時制） 17:40-19:45 下田高校			フラワーアレンジメント体験 9:00～ ひがしいず幼稚園	
13	金					
14	土			医療・福祉・司法なんでもかんでも相談会【下田会場】 13:30～15:30		
15	日				狩猟一斉パトロール 8:30～ 西伊豆町	
16	月	防災講座（南伊豆中学校） 11:30-15:10 南伊豆中学校				
17	火	防災講座（熱川小学校） 10:25-12:05 熱川小学校				
18	水	防災講座（伊豆海認定こども園） 9:30-10:30 伊豆海認定こども園				
19	木					
20	金	防災講座（伊豆の国特別支援学校伊豆下田分校） 10:40-11:45 伊豆下田分校				
21	土					
22	日					
23	月					
24	火	①静岡大学公開講座オンライン試聴会 18:00-19:30 賀茂キャンパス ----- ②防災講座（河津中学校） 13:10-15:00 河津中学校				
25	水	定例記者懇談会 9:30～ 賀茂キャンパス		災害時の食の備えに関する研修・交流会 10:00～14:30		
26	木	①社会人講座 13:30～ 賀茂キャンパス ----- ①防災講座（稲生沢小学校） 13:20-14:55 稲生沢小学校				
27	金	防災講座（南伊豆認定こども園） 10:00-11:00 賀茂危機管理庁舎				
28	土					
29	日					
30	月	防災講座（稲生沢小学校） 9:30-11:30 賀茂危機管理庁舎				

行事予定表（令和8年11月分）

日	曜日	農林技術研究所 伊豆農業研究センター	水産・海洋技術研究所 伊豆分場	賀茂広域 消費生活センター	賀茂地域 教育振興センター	伊豆観光局
1	日					
2	月					
3	火					
4	水					
5	木					
6	金					
7	土					
8	日					
9	月					
10	火					
11	水					
12	木					
13	金					
14	土					
15	日					
16	月					
17	火					
18	水					
19	木					
20	金			くらしに役立つ県民講座 13:00～ 賀茂キャンパス		
21	土					
22	日					
23	月					
24	火					
25	水					
26	木					
27	金					
28	土					
29	日					
30	月					

令和8年10月23日

定例記者懇談会資料

「デジタルノマドシンポジウム in 静岡」の開催

(賀茂地域局)

(要旨)

県では、「デジタルノマドシンポジウム in 静岡」を以下の通り開催します。

本イベントは、国際的なリモートワーカーであるデジタルノマドの特徴や地域での受入方法を広く周知し、理解を深めることで誘致・受入促進を図ることを目的としています。

観光事業者、交通事業者、金融機関、行政機関、地域事業者の皆様のご参加をお待ちしております。

(概要)

日 時	令和8年11月6日(金) 13:00~17:00
会 場	ホテル伊豆急(下田市白浜 2732-7)
内 容	第1部 パネルディスカッション 13:00~16:00 第2部 交流会(アンカンファレンス) 16:00~17:00 主 催 静岡県 運 営 ELENTO 合同会社
対 象	観光事業者、交通事業者、金融機関、行政関係者、地域事業者 等
参加費	無料

担 当：地域課 中村
電話番号：0558-24-2204



Digital Nomad Symposium in Shizuoka

デジタルノマドシンポジウム in 静岡

新しい観光と関係人口のかたち

New Forms of Tourism and Lasting Connections



日時 / DATE

11月6日 (金)

13:00-17:00 (開場 12:30)



会場 / VENUE

ホテル伊豆急

静岡県下田市 / Shimoda, Shizuoka



参加費 / FEE

無料

Free



言語 / LANGUAGE

日英 + AI字幕

JA & EN with
AI captions

注目ポイント / Key Points

01

副知事登壇

VICE GOVERNOR JOINS

静岡県副知事と考える、
新しい観光と地域のつながり

Exploring new forms of tourism and
local connections with the Vice
Governor of Shizuoka.

02

世界の最新事例

GLOBAL CASE STUDY

「ノマドフレンドリー地区」の
推進者2名が来日 (タイ・チェンマイ)

Two leaders behind Chiang Mai's
Nomad-Friendly District join us from
Thailand.

03

対話

DIALOGUE

登壇者・参加者・海外ノマドと直接
話せる少人数対話型セッション

Small-group conversations with
speakers, participants, and visiting
digital nomads.



デジタルノマドとは？

/ WHAT IS A DIGITAL NOMAD?

リモートワークで働きながら、自分の意思で暮らす場所を
選び、各地に滞在する人たち。新しい観光や、地域との継
続的なつながりを生む存在として注目されています。



参加登録 / REGISTER

無料・事前申し込み

Free Registration required



主催：  静岡県

協力：伊豆急行株式会社／株式会社静岡銀行／一般社団法人日本デジタルノマド協会
企画・運営：ELENTO合同会社

プログラム&登壇者 PROGRAM & SPEAKERS



プログラム / PROGRAM

第1部 | PART 1 パネルディスカッション / Panel Discussion

第2部 アンカンファレンス
PART 2 Unconference

01 なぜ今、静岡でデジタルノマドなのか

Why Digital Nomads,
Why Shizuoka, Why Now?

02 タイ・チェンマイに学ぶ、地域とデジタルノマドの共創

Co-Creating Communities with
Digital Nomads: Lessons from
Chiang Mai

03 新しい観光と関係人口のかたち

New Forms of Tourism and
Lasting Connections

04 アンカンファレンス

少人数対話型セッション

Unconference

登壇者 / SPEAKERS BY SESSIONS

SESSION

01

なぜ今、静岡でデジタルノマドなのか / Why Digital Nomads, Why Shizuoka, Why Now?

世界の動きと各国のビザ導入状況、日本国内・静岡県内の事例を共有します。
We'll share global trends, visa developments around the world, and examples from Japan and Shizuoka.

モデレーター
Moderator



加藤 遼
Ryo Kato
(一社)日本デジタル
ノマド協会
理事



田中 敦
Atsushi Tanaka
山梨大学
生命環境学部
教授



中野 智恵 (MOE)
Tomoe Nakano
(一社)日本デジタルノマド協会
代表理事



ハレン・タンビ
Haren Tambi
下田市 地域おこし協力隊
デジタルノマド誘致コー
ディネーター

SESSION

02

タイ・チェンマイに学ぶ、地域とデジタルノマドの共創

「ノマドフレンドリー地区」の推進者が、地域住民・行政・事業者がともに作るまちづくりの最新事例について共有します。
Nomad-Friendly District leaders share how local residents, government, and businesses are building communities together.

モデレーター
Moderator



梅田 直樹
Naoki Umeda
合同会社 local is beat
代表



ジョン・ホー
John Ho
Alt_Coliving 創業者
ノマドフレンドリー地区協議会
発起人



アリサ・ニンマンヘミン
Arisa Nimmanahaeminda
株式会社アヌサーン 代表取締役
ノマドフレンドリー地区協議会 共同発起人・地域代表

SESSION

03

新しい観光と関係人口のかたち / New Forms of Tourism and Lasting Connections

交通・観光／地域金融／宿泊。業種も規模も異なる県内3者が、グローバル関係人口についての可能性を語ります。
The Vice Governor joins leaders from transport, finance, and hospitality to discuss new ways to build lasting global connections.

モデレーター
Moderator



塚田 絵玲奈
Elena
Tsukada
ELENTO合同会社
代表



塚本 秀綱
Hidetsuna
Tsukamoto
静岡県 副知事



平澤 信明
Nobuaki
Hirasawa
伊豆急行株式会社
執行役員営業部長



大箸 武史
Takeshi
Ohashi
株式会社静岡銀行
下田支店長



片山 紗織
Saori
Katayama
吟漁亭
女将

会場・アクセス / Venue・Access



ホテル伊豆急 | Hotel Izukyu, Shimoda

〒415-0012 静岡県下田市白浜 2732-7
2732-7 Shirahama, Shimoda-shi, Shizuoka 415-0012, Japan



最寄駅：伊豆急下田駅 / Nearest station: Izukyu-Shimoda
無料シャトルバスあり / Free Shuttle bus available
※詳細はウェブサイトをご確認ください。 / For more
details, please check our website.

主催：  静岡県

協力：伊豆急行株式会社／株式会社静岡銀行／一般社団法人日本デジタルノマド協会
企画・運営：ELENTO合同会社

令和8年10月23日

記者懇談会資料

<賀茂キャンパス活用プログラム>

静岡大学×賀茂キャンパス公開講座

『民俗学への誘い』の開催

(賀茂地域局)

(要旨)

静岡大学との共催で『民俗学への誘い』をテーマに全3回の公開講座を行います。

(概要)

1 内 容

日時	テーマ・講師
11月2日(月) 18:00~19:30	「『日本鉱泉誌』にみる伊豆の温泉—伊豆から考える湯治の民俗学—」 樽井 由紀 氏 (奈良女子大学大学院修了 博士(文学)) (奈良女子大学古代学センター協力研究員)
12月1日(火) 18:00~19:30	「民俗学と自然災害—暮らしと災害の調和を探る—」 後藤 知美 氏 (独立行政法人国立文化財機構文化財防災センター主任研究員)
12月21日(月) 18:00~19:30	「体験!誰でもできる民俗学ワークショップ」 辻本 侑生 氏(静岡大学地域創造教育センター講師)

2 会 場 静岡県下田総合庁舎 別館2階 賀茂キャンパス (下田市中531の1)

3 対 象 県民など

4 参 加 費 無料

5 申 込 次のいずれかの方法でお申し込みください。

① 右の二次元コードからアクセスしてください。

② 電子メールで氏名、参加人数などを記載してお送りください。(宛先:kamo-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp)

③ 電話(0558-24-2202)で担当あてにお申し込みください。



担当 地域課 菅尾

電話 0558-24-2202

全3回

民俗学への誘い

第1回目

『日本鉱泉誌』にみる伊豆の温泉 —伊豆から考える湯治の民俗学—

講師：奈良女子大学大学院修了 博士（文学）
奈良女子大学古代学センター協力研究員

樽井 由紀 氏



参加無料

明治19年（1886）に刊行された『日本鉱泉誌』には、全国各地の温泉の泉質や効能、利用状況などが記録されています。

本講座では伊豆の温泉に注目し、その記述を手がかりに、近代の人々が温泉をどのように捉え、病を癒す「湯治」の場として利用してきたのかを探ります。さらに地域に伝わる温泉文化にも目を向け、湯と人との関わりを民俗学から考えます。

2026年

11/2 [月] 18:00-19:30

会場 賀茂キャンパス（下田総合庁舎別館2階）
下田市中531-1

申込方法

①②③いずれかの方法で申込みください。

①二次元コード



②電話番号

☎ 0558-24-2202

③メールアドレス

✉ kamo-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp

第2回目 12/1（火）18:00-19:30

「民俗学と自然災害 —暮らしと災害の調和を探る—」

講師 後藤 知美 氏 独立行政法人国立文化財機構
文化財防災センター主任研究員

身近な暮らしの移り変わりに目を向けてきた民俗学では、災害を人びとがどう経験し、その後の暮らしがどのように変化していくのかについても考えてきました。今回の講座では、民俗学における災害研究の歩みをたどりつつ、近年の大規模災害と暮らしの関わりについて考えます。

第3回目 12/21（月）18:00-19:30

「体験！誰でもできる 民俗学ワークショップ」

講師 辻本 侑生 氏 静岡大学地域創造教育センター講師

「年末年始の食と行事」をテーマに、参加者の皆様のご経験や知っていること、地域で行うことなどをグループワーク形式で挙げていただき、同じ賀茂地域内での民俗の共通性や多様性を実感していただきます。

問い合わせ先 静岡県賀茂地域局地域課 ☎ 0558-24-2202

共催 静岡大学東部サテライト／賀茂キャンパス活用推進委員会（静岡県賀茂地域局ほか）

令和8年10月23日

記者懇談会資料

＜賀茂キャンパス活用プログラム＞

静岡大学東部サテライト公開講座オンライン試聴会

～カメラ画像で自然災害の予兆を検知する試み～

(賀茂地域局)

(要旨)

静岡大学が主催する講座「多彩な視点から学ぶ伊豆半島の自然と社会」を同大学の協力により、11月24日（火）に以下の通り開催します。

(概要)

日 時	令和8年11月24日（火） 18:00～19:30 （途中入退出可能）
会 場	静岡県下田総合庁舎別館2階 賀茂キャンパス ※別館1階玄関からお入りください。
内 容	演題・講師 「カメラ画像で自然災害の予兆を検知する試み」 静岡大学総合防災センター 客員教授 橋本 岳 氏 ※講演会場（静岡大学東部サテライト）とオンラインで結び、大型スクリーンにより視聴する。
対 象	県民など
参加費	無料
申 込	二次元コード：  電 話：0558-24-2202 メール：kamo-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp （氏名、職業、電話番号、参加人数の記入をお願いします。） いずれかの方法でお申込みください。
共 催	静岡大学未来社会デザイン機構東部サテライト 賀茂キャンパス活用推進委員会（静岡大学、静岡県賀茂地域局ほか）

担 当：地域課 菅尾
電話番号：0558-24-2202

多彩な視点から学ぶ 伊豆半島の自然と社会

静岡大学東部サテライト(伊豆市)で実施する
講義を賀茂キャンパスで視聴します。



※ご自宅でオンライン視聴するものではありません。

日時

11/24 火 18:00-19:30

受講料 無料

場所

賀茂キャンパス（静岡県下田総合庁舎別館 2 階）下田市中531-1

テーマ

カメラ画像で自然災害の予兆を検知する試み

自然災害の中でも住宅や道路など人の身近で発生する土砂災害の予兆を検知するため、具体例として高速道路の切土法面の変位量を超高精度に計測してきました。画像計測には、非接触・広範囲・多数同時計測、かつ記録という多くのメリットがあり、また計測距離が長くなると誤差が増大という欠点を私の独自技術で解決しました。この計測原理と応用例などを丁寧に紹介します。

静岡大学総合防災センター 客員教授

専門：画像計測

橋本 岳 氏

プロフィール

1961年大阪府生まれ。1990年京都大学大学院博士課程単位取得退学、同大学工学部助手、博士（工学）。1998年静岡大学工学部電気・電子工学科助教授、2026年より現職。一貫して、画像計測に取り組んできた。特に、超高精度ステレオ画像計測を得意としており、その独自技術を防災研究へ応用することで、安全安心な社会の実現を目指している。



申込方法

参加を希望される方はいずれかの方法でお申し込みください。

二次元コード



電話（静岡県賀茂地域局地域課）

☎ 0558-24-2202

メール

✉ kamo-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp

提 供 日 2026/10/20
 タイトル 小中学生が“仕事の現場”へ！★今年度初開催★冬の職場体験講座受講者募集開始
 担 当 経済産業部 就業支援局職業能力開発課
 連 絡 先 技能振興班
 TEL 054-221-2954



小中学生が“仕事の現場”へ！★今年度初開催★冬の職場体験講座受講者募集開始

1 要旨

静岡県では、地域の企業・事業所の魅力を伝え、子どもたちの将来の選択肢を広げるため、小中学生と保護者を対象に、企業紹介と職場体験を兼ねた「小中学生職場体験講座」を開催します。今年度は初めて冬講座を開催します。数多くの講座を御用意しておりますので、ぜひご参加ください。

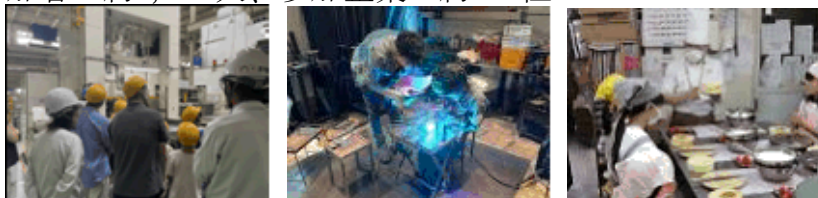
2 講座の概要

対 象 者	小学生(3年生から6年生まで)、中学生(1年生から3年生まで)、保護者
開催期間	11月14日(土)から12月25日(金)まで(募集開始:10月20日正午～)
開催場所	静岡県全域(賀茂・東部・中部・西部)の各企業が指定する場所
講座内容	企業が企画・運営を行う小中学生向けの職場体験 仕事内容の説明、会社や現場の見学、各種体験(ものづくり・重機操作体験・イベント企画・商品開発・接客等)などを組み合わせた体験講座
HP	(QRコード) https://shizuoka-shokuba.jp/ 「静岡県職場体験講座」で検索 
応募方法	上記ホームページよりお申し込みください。

3 問い合わせ先

経済産業部就業支援局 職業能力開発課(担当:菅沼・田代)
 e-mail : taikensyokuba@pref.shizuoka.lg.jp
 電話番号 : 054-221-2954

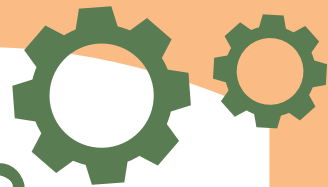
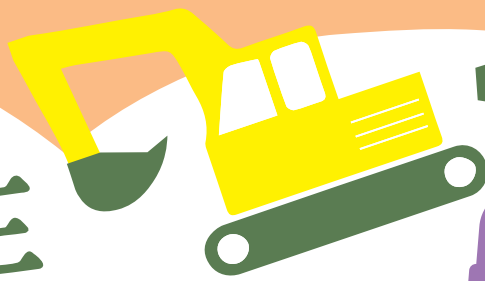
<参考>小中学生夏休み職場体験講座(令和8年度)
 参加者:約1,700人、参加企業:約160社



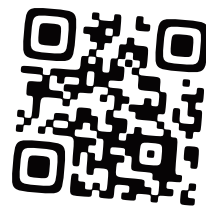
見よう! 作ろう! 楽しもう!



小中学生 職場体験 講座



お申込は
こちら!



講座一覧及び申込は
二次元コードから



冬の職場体験、はじまります!
まだ知らない「やってみたい」を見つけよう!

静岡県内の多彩な企業による
「職場体験講座」を開催します

数多くの講座を用意しています! /

工場見学
溶接体験

プログラミング
体験

銀行の
おしごと体験

お菓子作り
体験

病院・薬局の
おしごと体験

木こり体験

建設重機
操縦体験

開催期間: 令和8年11月14日(土) ~ 12月25日(金)
開催場所: 静岡県全域(賀茂・東部・中部・西部)

募集開始: 11月開催分 令和8年10月20日(火)正午(予定) ~
12月開催分 令和8年11月10日(火)正午(予定) ~

講座情報は10月中旬公開予定



主催 静岡県、参加企業・団体のみなさま

共催 静岡市、浜松市、沼津市、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、島田市、富士市、磐田市、焼津市、掛川市、藤枝市、御殿場市、袋井市、裾野市、湖西市、伊豆市、御前崎市、菊川市、伊豆の国市、牧之原市、東伊豆町、南伊豆町、西伊豆町、函南町、清水町、長泉町、小山町、吉田町、川根本町、森町

静岡県職場体験講座
問い合わせ窓口

受 託: 特定非営利活動法人しずおか共育ネット
問合先: 「小中学生職業体験講座事務局」(静岡銀行地方創生部内)
電 話: 054-345-9170 (平日 9:00 ~ 17:00)
メール: info@shizuokakyouiku.net



みなさんの身近にある仕事、 気になる仕事の裏側を実際に体験してみよう！



／ 体験例 ／



溶接・金属加工



食品・お菓子作り



工場見学・機械操作



IT・プログラミング



自然・林業



建設・工事

参加者の声



パティシエ体験に初めて参加しました！クリームを絞るのが難しかったけれど、綺麗にデコレーションできて嬉しかったです。自分で作ったケーキは最高に美味しかったです。

(小3 女子、洋菓子店)



水族館での職場体験がすごく楽しかったです！生き物や仕事の裏側を知ることができて良い経験になりました。もしできたら、次はもっと他の場所の職場体験にも参加してみたいです。

(小6 男子、水族館)



最初はとても緊張していましたが、普段話す機会がない年代の方々たくさんお話ができて嬉しかったです。体験を通じて福祉のお仕事の大切さをしっかり理解できました。

(中2 女子、福祉施設)



授業で学ぶ理論が製品化にどう活かされているかを実感できました。現場で活躍するエンジニアの方から直接キャリアの話を聞いたことは、今後の進路決定に向け大きな刺激になりました。

(高2 男子、精密機械)



普段触れる機会のないカメラやスタジオ、中継車など貴重な体験ができました。ニュース完成までの流れや裏側まで聞くことができ、子どもも親も大満足の講座でした。

(小6 保護者、放送局)



親も驚く知識や情報に触れることができ親子で楽しめました。最初の座学は少し難しそうでしたが、お札の秘密などに興味津々で取り組んでおり、大変勉強になる講座でした。

(小5 保護者、銀行)



参加前にご確認ください

- 対象は小学生(3年生～6年生)及び中学生(1年生～3年生)と保護者となります。
- 小学生は保護者の同伴が必須となります。
- 会場までの交通費等は参加者の負担となります。
- 日程・会場・定員・参加費・申込方法等は講座ごとに異なります。
- 内容をよく確認のうえ、御参加ください。
- 台風や荒天等のやむを得ない事情で、内容変更や中止・延期となる場合があります。

Q SNSアカウント公開中！

職場体験講座の公式SNSアカウントを公開中です！
講座情報・申込開始のお知らせ・夏期講座の体験レポートなどをお届けします。ぜひチェックしてフォローしてください。



11月の防災講座

(賀茂地域局)

(概要)

賀茂地域局では、地域防災力を強化するため、自主防災組織、教育機関等と連携し、防災講座を開催する。

(開催スケジュール)

	実施日時	実施場所	実施対象	内容等
①	11月6日(金) 10:00～11:30	賀茂危機管理庁舎 (下田市)	4年生 約20人	浜崎小学校4年生の 庁舎見学
②	11月6日(金) 13:25～15:00	朝日小学校 (下田市)	5年生 約10人	避難所運営ゲーム (HUG)の事前学習
③	11月9日(月) 9:15～11:00	松崎小学校 (松崎町)	4年生 約30人	災害図上訓練(DIG)
④	11月9日(月) 13:30～15:20	松崎中学校 (松崎町)	1年生 約30人	避難所運営ゲーム (HUG)
⑤	11月12日(木) 13:25～15:00	朝日小学校 (下田市)	5年生 約10人	ジュニア版避難所運営 ゲーム(HUG)
⑥	11月12日(木) 17:40～19:45	下田高校定時制 (下田市)	全校生徒 約30人	災害図上訓練(DIG)
⑦	11月16日(月) 11:30～15:10	南伊豆中学校 (南伊豆町)	全校生徒 約140人	地震体験(車) 静岡県ジュニア防災士 養成講座(防災講話) 避難所運営ゲーム (HUG)
⑧	11月17日(火) 10:25～12:05	熱川小学校 (東伊豆町)	5、6年生 約50人	ジュニア版避難所運営 ゲーム(HUG)

	実施日時	実施場所	実施対象	内容等
⑨	11月18日（水） 9:30～10:30	伊豆海認定 こども園 （西伊豆町）	園児 約 20 人	防災ダック 地震体験（車）
⑩	11月20日（金） 10:40～11:45	伊豆の国 特別支援学校 伊豆下田分校 （下田市）	全校 児童・生徒 約 10 人	防災講話 地震体験（車）
⑪	11月24日（火） 13:10～15:00	河津中学校 （河津町）	全校生徒 約 130 人	地震体験（車） 避難所運営ゲーム （HUG）
⑫	11月26日（木） 13:20～14:55	稲生沢小学校 （下田市）	5年生 約 20 人	災害イメージトレーニング
⑬	11月27日（金） 10:00～11:00	賀茂危機管理庁舎 （下田市）	5歳児 約 20 人	南伊豆認定こども園 5歳児の庁舎見学
⑭	11月30日（月） 9:30～11:30	賀茂危機管理庁舎 （下田市）	4年生 約 20 人	稲生沢小学校4年生の 庁舎見学

（お願い）

- ・講座の取材を行う場合は、各学校まで取材を行う旨をご連絡ください。
- ・講座の内容については、変更になる場合があります。
- ・講座の内容に関するお問合せは下記担当までお願いいたします。

担 当：危機管理課 山田
連絡先：0558-24-2004

遺体収容所運営訓練の実施について

(賀茂地域局危機管理課)

(趣旨)

南海トラフ地震等の大規模災害発生時に求められる遺体措置対応の一つである「遺体収容所の運営」について、関係機関との連携や手順の確認を目的とした運営訓練を実施する。

(概要)

- 1 日時・場所・主催
 - 日時：令和 8 年 10 月 25 日（日）午後 1 時～ 3 時
 - 場所：東伊豆町立体育センター
 - 主催：東伊豆町、県警察本部・下田警察署、県賀茂地域局・賀茂健康福祉センター
- 2 参加予定機関

賀茂医師会、賀茂歯科医師会、
下田消防本部、駿東伊豆消防本部東伊豆消防署、
下田海上保安部、陸上自衛隊第 34 普通科連隊、
東京電力パワーグリッド株式会社、葬祭業者、
下田市、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町
- 3 訓練概要
 - 遺体収容の手順及び連携確認
(遺体搬入～受付～検視・検案～歯牙鑑定～遺体安置)
 - 遺族への相談対応の手順確認
- 4 留意事項
 - 取材においては、東伊豆町立体育センター駐車場を御利用ください。
 - 当日の午前 9 時から正午までは、会場設営や手順の確認を行います。
 - 気象警報の発表等により訓練を中止する場合は、当日午前 7 時までに賀茂管内報道機関あて情報提供いたします。
 - 駐車場に限りがあるため、取材を希望する方は事前に御連絡ください。



遺体搬入・受付



検視・検案



遺体安置

担 当： 危機管理課 田島・門口
連絡先： 0 5 5 8 - 2 4 - 2 0 0 4

税を考える週間「県税広報展」の開催

(下田財務事務所)

(要 旨)

毎年、11月11日から17日までの7日間を「税を考える週間」として、国、県、市町及び関係団体等が連携し、全国各地で広報活動を行っています。

当所も、税の目的、仕組、使いみちなどを住民にわかりやすく説明し、身近な税について考えていただく機会とするため、「県税広報展」を開催します。

(概 要)

項 目	内 容
時 期	令和8年11月11日（水）から令和8年11月17日（火）まで
場 所	1 マックスバリュ伊豆下田店2階（下田市西本郷1丁目6-26） 2 静岡県下田総合庁舎1階ロビー
内 容	1 パネル資料や写真による県税の「使いみち」の紹介 2 「税に関する作品」優秀作品の展示（※） 3 広報資料（リーフレット）・啓発品の配付

※「税に関する作品」

「伊豆下田納税貯蓄組合連合会」が税をテーマにした作品を募集。小学生を対象とした習字（賀茂地域からの応募総数205点、参加14校）とポスター（同4点、2校）、中学生を対象とした作文（同198点、7校）の応募があり、各賞を決定した。財務事務所長賞の受賞者は下記のとおり。

【静岡県下田財務事務所長賞】

部 門	受賞者氏名（敬称略）
習 字	とみた あやめ 富田 文芽（東伊豆町立稲取小学校6年生）
作 文	よしなが はつみ 吉長 初美（松崎町立松崎中学校3年生）

【参考】昨年の会場の様子



担 当：管理課 小松
連絡先：0558-24-2013

令和8年10月23日

定例記者懇談会資料

医療・福祉・司法なんでもかんでも相談会【下田会場】の開催

(賀茂健康福祉センター)

(要旨)

病気や障害、仕事や生活、法律、お子さんの発育に関することなどの困りごとに医療、福祉、司法の専門職がワンストップで相談をお受けする「なんでもかんでも相談会」が、下田会場で開催されます。

(概要)

日 時	令和8年11月14日(土) 13:30~15:30
会 場	静岡県下田総合庁舎 別館2階 賀茂キャンパス(下田市中531-1)
申 込	予約制になりますので、下記までご連絡ください。 予約時に相談内容を伺います。 相談は無料です。
問合先	静岡市清水医師会相談室(静岡市清水区渋川2-12-1) 電話 054-344-0550

(その他)

- ・ 1月以降の開催予定日
1月30日(土)
3月13日(土)

担 当：賀茂健康福祉センター
連絡先：0558-24-2033

医療

福祉

司法

な

で

も

か

ん

で

も

相

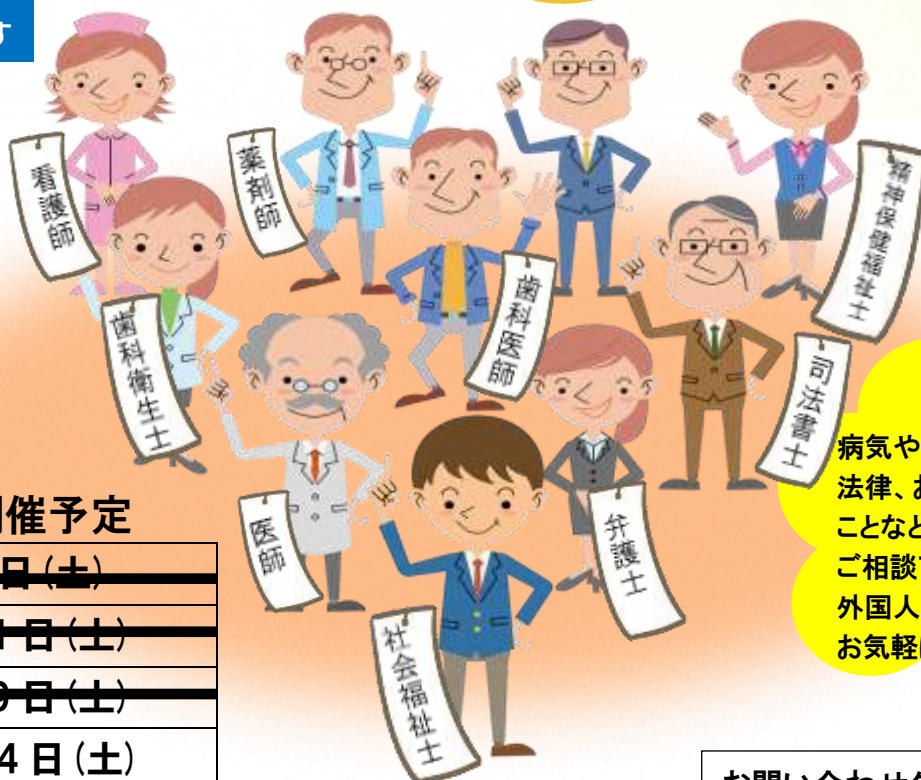
談

会



必要に応じて他会場と
オンラインでつながります

予約制



2026 年度 開催予定

1 回目	5 月 9 日 (土)
2 回目	7 月 11 日 (土)
3 回目	9 月 19 日 (土)
4 回目	11 月 14 日 (土)
5 回目	1 月 30 日 (土)
6 回目	3 月 13 日 (土)

※開催時間: 13:30~15:30

病気や障害、仕事や生活、
法律、お子さんの発育に関する
ことなど、困りごとなんでも
ご相談下さい！

外国人の方、専門職の方も
お気軽に！

相談は無料です。
予約時に相談内容を
うかがいます。

お問い合わせ先：
静岡市清水医師会相談室
054-344-0550
〒424-0053 静岡市清水区渋川 2-12-1

心配ごとお聞かせください！

主 催：一般社団法人 静岡市清水医師会

(委託先) 一般社団法人 静岡県社会福祉士会 (銀さら勉強会)

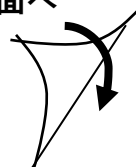
共 催：一般社団法人 静岡市清水歯科医師会 清水薬剤師会 法テラス静岡

一般社団法人 静岡県精神保健福祉士協会

協 力：静岡県国際交流協会 (福) 静岡市社会福祉協議会 (福) 菊川市社会福祉協議会

東伊豆町 伊豆市 湖西市 一般社団法人 浜名医師会

詳しくは裏面へ





開催時間 **13:30～15:30** を予定

※会場に駐車場がございますので、お車でもお越しいただけます。

【清水会場】静岡市清水医師会 大会議室



静岡市清水区渋川 2-12-1

【菊川会場】菊川市総合保健福祉センター



菊川市半済 1865

【下田会場】下田総合庁舎 2 階



下田市中 531-1

【東伊豆会場】東伊豆町保健福祉センター



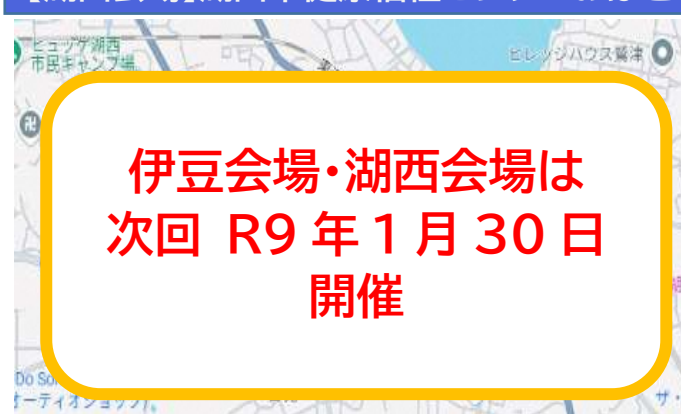
賀茂郡東伊豆町白田 306

【伊豆の国会場】大仁庁舎 2 階会議室



伊豆の国市田京 299-6

【伊豆会場】生きいきプラザ
【湖西会場】湖西市健康福祉センターおぼと



**伊豆会場・湖西会場は
次回 R9 年 1 月 30 日
開催**

伊豆市小立野 38-2 / 湖西市古見 1044

医師・歯科医師・薬剤師・保健師・看護師・歯科衛生士・理学療法士・弁護士・司法書士・社会保険労務士
社会福祉士・精神保健福祉士ほか、生活支援に関する専門職が相談をお受けします。

お問い合わせ先: 静岡市清水医師会 在宅医療介護相談室



054-344-0550

定例記者懇談会資料

災害時の食の備えに関する研修・交流会を開催します

(賀茂健康福祉センター)

(要旨)

賀茂地域の健康づくり食生活改善推進員の資質向上と地区組織活動の活性化を図るため、今回は「災害時の食の備え」をテーマに研修・交流会を開催します。

(概要)

日 時	令和8年11月25日(水) 10:00～14:30
会 場	東伊豆町保健福祉センター 1階 研修調理室(東伊豆町白田306)
対 象	健康づくり食生活推進員(下田市、東伊豆町、河津町、南伊豆町)、市町担当者 約25人
内 容	第1部「どんなときも♪レシピ」講習会、調理実習 講師 公益財団法人味の素ファンデーション 山田幹夫 氏 第2部「どんなときも♪レシピ」講習会の自主開催パッケージ説明会 講師 公益財団法人味の素ファンデーション 山田幹夫 氏 第3部 活動報告、情報交換 活動発表：南伊豆町健康づくり食生活推進協議会 食育活動表彰受賞報告：東伊豆町健康づくり食生活推進協議会
主 催	県賀茂健康福祉センター、健康づくり食生活推進協議会賀茂連絡会

(健康づくり食生活推進協議会とは)

“私達の健康は私達の手で”をスローガンに、食を通じて健康づくりを推進するボランティア団体です。令和8年5月13日現在、県内15市町に704人の推進員がおり、賀茂地域では4市町で96人が活動しています。

(今年度のテーマ)

東日本大震災の被災地の声をもとに、「いつも」も「もしも」の時にも役立つテキスト「どんなときも♪レシピ」を味の素ファンデーションが考案。過去の災害からの教訓を講習会で学び、活動に活かすことを目指します。

(その他)

当日、取材に来られる場合は、前日までに下記担当まで御連絡ください。

担 当：健康増進課
連絡先：0558-24-2037

定例記者懇談会資料

園児がフラワーアレンジメントを体験

(賀茂農林事務所)

1 要 旨

賀茂地域青年農業士（※1）連絡会は、花育活動（※2）の一環として賀茂地域内の園児を対象に、フラワーアレンジメント体験を実施します。

この取組は、賀茂地域の特産品を使用することで、地域の農業への関心を高めることを目的にしています。

2 概 要

実施日時 及び 会 場	令和8年11月12日（木）9：00～ ひがしいず幼稚園（東伊豆町稲取）
	令和8年12月3日（木）9：00～ 仁科認定こども園（西伊豆町仁科）
	令和8年12月3日（木）10：00～ 伊豆海認定こども園（西伊豆町田子）
	令和8年12月22日（火）10：00～ 聖和保育園（松崎町峰輪）
内 容	・カーネーションの説明 ・フラワーアレンジメント体験（東伊豆町産カーネーション使用）
参加者	・園児 20名程度（各園） ・賀茂地域青年農業士連絡会員 3名（予定）
主 催	賀茂地域青年農業士連絡会
その他	取材を希望される場合は、各回の前日までに下記担当まで御連絡ください。 ※1 40歳以下の、一定の農業経験を有し、農村青少年の自主的な組織活動に積極的に参画し、中心的役割を果たしている者又は中心的役割が期待される者 ※2 花や緑に親しみ、育てる機会をとおして、やさしさや美しさを感じる気持ちを育むこと

担 当：企画経営課 夏賀

連絡先：0558-24-2076

狩猟解禁に伴う一斉パトロールの実施

(賀茂農林事務所)

1 目 的

11月1日からイノシシ、ニホンジカのわな猟・銃猟に限り狩猟が解禁になるのに伴い、下田警察署協力の下、関係者による狩猟者への県下一斉パトロールを実施し、狩猟における違反及び事故の防止を図ります。

2 概 要

実施日時	令和8年11月1日(日) 8:30~10:30 ※ 各市町役場駐車場に8:30に集合しパトロールを実施。 (西伊豆町のみ、11月15日(日)に実施) ※ 雨天決行
実施場所	狩猟者が訪れることが予想される地域、鳥獣保護区など狩猟に制限がある地域 等
出席者	下田警察署(下田市、西伊豆町のみ参加) 賀茂猟友会、静岡県鳥獣保護管理員 管内各市町、賀茂農林事務所、県自然保護課(西伊豆町のみ参加)
実施方法	・市町ごとに班を編成し巡回します。 ・鳥獣保護管理法の遵守状況を見回るほか、狩猟者に対し声掛けやチラシ等による注意喚起、啓発を行います。(捕獲禁止場所や禁止猟法で狩猟をしていないか、無登録で狩猟していないか等)
狩猟期間 (静岡県の場合)	・令和8年11月15日(日)~令和9年2月15日(月) ※ 但し、イノシシとニホンジカに限り、 令和8年11月1日(日)~令和9年3月15日(月)
その他	・取材は、11月1日(日)は下田市、11月15日(日)の西伊豆町が可能です。 ・取材を希望される場合は、10月30日(金)、(西伊豆町:11月13日(金))までに下記担当まで御連絡ください。

担 当：森林整備課 大橋

連絡先：0558-24-2082



体験充実！親子で楽しむ「土木の日」がパワーアップ



(下田土木事務所)

1 要旨

下田土木事務所では、建設業や関連産業に親しんでもらうことを目的に、体験型イベント「土木の日×はたらく船もあつまれ！」を開催します。

関係団体の協力を得て、大型クレーン船や建設重機の展示・操作体験をはじめ、港や地域を支える様々な産業の魅力を親子で体感できる機会を提供します。

今年は新たな取組として、本格派重機シミュレーター「重機でGO」の体験や、静岡県森林連合会による丸太コースターづくり、下田海中水族館によるウミガメ展示などが加わります。

2 開催日時

令和8年11月7日（土）10：00～15：00

3 開催場所

下田港荷さばき地（道の駅「開国下田みなと」南側広場）

※来場者は、臨時駐車場（別添チラシ参照）を御利用ください。

4 協力団体

国土交通省沼津河川国道事務所・国土交通省下田港事務所・下田海上保安部・名古屋税関 清水税関支署 下田監視署・下田警察署・下田消防本部・下田市役所・（一社）下田建設業協会若手の会・（株）ウインディーネットワーク・（一社）静岡県地質調査業協会・静岡県道路舗装協会・太陽建機レンタル(株) 下田支店・静岡県生コンクリート工業組合青年部協議会・伊豆生コンクリート協同組合・静岡県森林組合連合会・下田海中水族館・IZU と DAO 合同会社（別添チラシ参照）

5 イベント内容

- ・バックホウ、大型クレーン船等の建設重機の展示・操作
- ・パトカー、白バイ、水上バイクの展示・試乗
- ・道路舗装について学べる展示、測量の体験
- ・丸太コースター作り、ウミガメの展示

6 その他

- ・雨天中止などの最新情報はインスタグラムにて配信します。
- ・同時開催：下田商工会議所主催「下田商工祭」（道の駅 大型駐車場）



@SHIMODO_KOUHOU

担 当：企画検査課 曾根、富田
連絡先：0 5 5 8 - 2 4 - 2 1 1 3

参加
無料

どぼく 土木の日



はたらく船もあつまれ！！

11.7 10:00-15:00
こさめ けっこう
土 小雨決行

道の駅「開国下田みなと」駐車場南側広場
みち えき かいこく しもだ ちゅうしゃじょうみなみがわひろば

りんじ ちゅうしゃじょう
臨時駐車場



道の駅の駐車場ではなく臨時駐車場をご利用ください。

はたらく
のりものに
のれる！

- クレーン船
- パトカー・白バイ
- ショベルカー
- 巡視船

Instagram
もチェック！



@SHIMODO_KOUHOU



ふじっぴーと
うみまるとも
写真が撮れる！

※写真はふじっぴーと
うみん(うみまるとの弟)です。



どうじ かいさい しもだ しょうこう さい
同時開催 下田商工祭

主催 静岡県下田土木事務所企画検査課 TEL:0558-24-2113

協力

国土交通省沼津河川国道事務所・国土交通省下田港事務所・下田海上保安部・名古屋税関 清水税関支署 下田監視署・下田警察署・下田消防本部・下田市役所・(一社)下田建設業協会若手の会・(株)ウインディーネットワーク・(一社)静岡県地質調査業協会・静岡県道路舗装協会・太陽建機レンタル(株) 下田支店・静岡県生コンクリート工業組合青年部協議会・伊豆生コンクリート協同組合・静岡県森林組合連合会・下田海中水族館・IZUとDAO合同会社

定例記者懇談会資料



西伊豆にも“はたらくるま”がやってくる！
～「夕陽のまち西伊豆町ふるさとまつり」への土木PRブースの出展～



(下田土木事務所)

1 要旨

下田土木事務所松崎支所では、土木の魅力を発信し、地域の方々に建設業や関連産業に親しんでもらうことで、将来の担い手確保や防災意識の向上を図るため、西伊豆町建設組合、松崎町建設業組合と共同で「夕陽のまち西伊豆町ふるさとまつり」に土木のPRブースを出展します。

当日は、重機（ミニユンボ）の操作体験や道路パトロールカーの展示などを行います。

2 日時

令和8年11月8日（日）10：00～14：00

（「夕陽のまち西伊豆町ふるさとまつり」が中止になった場合には実施しません）

3 会場

黄金崎クリスタルパーク駐車場（賀茂郡西伊豆町宇久須 2204-3）

4 内容

- ・重機（ミニユンボ）の操作体験
- ・道路パトロールカーの展示
- ・松崎支所管内の土木工事の紹介
- ・ふじっぴーとの記念撮影
- ・どぼクイズと記念品グッズ配付



ミニユンボ操作体験（令和7年度）



道路パトロールカー（イメージ）

担 当：松崎支所 平田
連絡先：0558-42-0003

令和8年10月23日

定例記者懇談会資料

くらしに役立つ県民講座
～未来につなぐ終活・相続の話～

(賀茂広域消費生活センター)

1 要 旨

賀茂広域消費生活センターでは、住民から寄せられる相談の中で特に件数が多い「相続」をテーマに講座を開催します。

高齢化率の高い賀茂地域において、自分らしい人生の締めくくりに向けた「終活」の重要性が高まっています。

本講座では、J-FLEC（金融経済教育推進機構）から講師を迎え、終活や相続に必要な基本的な知識や外部知見の活用などを学ぶ講座を行います。

2 日 時 令和8年11月20日（金）13：00～15：00

3 会 場 静岡県下田総合庁舎2階 賀茂キャンパス

4 内 容 ・消費生活センターのミニ講話（20分）
・講演 「未来につなぐ終活・相続の話」（90分）
講師 大石美津子（おおいしみつこ）氏（J-FLEC講師）

5 対象者 一般県民、消費生活相談員、県民相談員、市町行政職員など

6 受講料 無料

7 定 員 先着40名

8 申込み 電話・FAX・メールで賀茂広域消費生活センターまでお申込みください
※ チラシ参照

担 当：松久

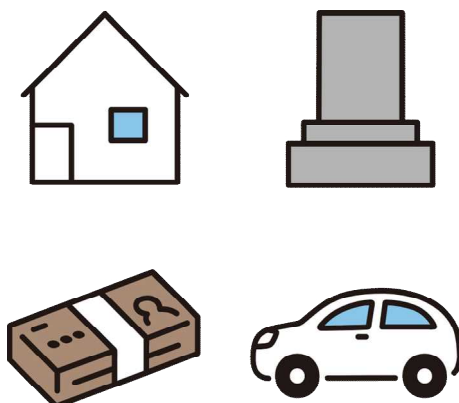
連絡先：0558-24-2206



くらしに役立つ 県民講座

～未来につなぐ終活・相続の話～

これからの人生を、自分らしく。
終活で安心を準備しましょう！



令和8年 **11月20日(金) 13:00～15:00**

会場

賀茂キャンパス

静岡県下田総合庁舎 2階
下田市中531-1

講師

おいしい み つ こ

大石 美津子 氏 (J-FLEC講師)

定員・申込

先着40名・

電話・メールまたは下記申込書に
必要事項を記入のうえ
FAXでお申し込みください

くらしに役立つ県民講座
「未来につなぐ終活・相続の話」

受講申込書

FAX：0558-24-2210

お名前	お住まいの市町	電話番号またはメールアドレス

お問い合わせ

賀茂広域消費生活センター 〒415-0016 下田市中531-1県下田総合庁舎6階
TEL：0558-24-2206 / E-mail：kamo-shohi@mm.pref.shizuoka.jp